

「～戦闘甲斐士21」 2017. 11. 5(日)

会場/山梨県流通センター (山梨県中央市流通団地2-6-1) 問合/マイウエイジム 055-228-2325
主催/YKA山梨県キックボクシング協会 認定/Japan Kickboxing INNOVATION
開場/10:30 試合開始/15:00 (※第19回アマ定期戦 SMASHERS 受付/9:45 開始/10:45)

<試合結果>

■【メインイベント】第9試合 WBCムエタイ-S.フェザー級ランキング戦(60kg契約)/3分3回戦

× 葵拳士郎 (マイウエイジム・山梨/日本S.フェザー級王者/WBC同級2位) Aoi Kensiro

○ TAAAACHAN (PCK連闘会・宮城/元日本フェザー級王者/WBC同級5位) ターチャン

判定0-3(27-29 27-29 26-29) ※葵は1Rにパンチで2ダウン

過去2戦とも葵を下しているTAAAAchanは1Rにスピードに乗ったパンチで2ダウンを取ったが惜しくもゴング。葵は2R態勢を持ち直してほぼ互角の攻防を展開。3Rに入ると一転反撃に出てTAAAAchanをパンチ、ヒザで追い込む場面を作り、会場の大声援を受けたが時間なく試合終了。王座戴冠後初の凱旋試合は戦略に課題を残したまま痛い黒星を喫した。

■【セミファイナル】第8試合 S.バンタム級国際交流戦(55kg契約)/3分3回戦

◎ 若月勇磨 (マイウエイスピリッツジム・山梨/日本バンタム級4位/WBC同級6位) Wakatsuki Yuma

× パクチャンヨン (アムナトジム・韓国/韓国キック協会バンタム級王者) Park Chang Yeon

3R1'33"KO(膝蹴り)

直前2試合は王者との大事な対戦が続き、いずれも目が慣れる前のパンチ1発で1RKO負けを喫している若月。力の差以前にパンチに対する対策見直しが功を奏し、背水の陣で韓国王者を迎えた地元試合で結果を出した。ケリもパンチも互角に推移し3R中盤パクを膝蹴りで仕留め、対王者3連戦は地元で初白星を挙げた。

■第7試合 ライト級ランキング戦/3分3回戦

○ 外川夏樹 (マイウエイスピリッツジム・山梨/日本ライト級7位) Togawa Natsuki

× MIDORI (習志野ジム・千葉/日本ライト級6位)

判定3-0(30-29 30-29 29-28)

■第6試合 S. ライト級交流戦/3分3回戦

× 宮下修平 (マイウエイジム・山梨/日本S.ライト級10位) Miyashita Shuhei

◎ 中島 崇 (PCK亙理・宮城/聖域-S.ライト級王者) Nakajima Takashi

2R1'32" KO(パンチ)

■第5試合 バンタム級ジム対抗戦/3分3回戦

○ 稔之晟 (マイウエイスピリッツジム・山梨) Jinnojo

× KEITO (DAIKEN THREE TREE GYM・山梨)

判定3-0(30-26 30-26 29-26)

■第4試合 ウェルター級交流戦/2分3回戦

× 倅 輝 (マイウエイスピリッツジム・山梨) Koki

○ 清水一寿 (TIGER GYM Japan・長野) Shimizu Kazuhisa

判定0-2(28-29 28-29 29-29)

■第3試合 フライ級交流戦/2分3回戦

× 祐 我 (DAIKEN THREE TREE GYM・山梨) Yuga

◎ 松谷 桐 (VALLELY・東京) Matsutani Kiri

1R 0'58" KO(パンチ)

■第2試合 ライト級交流戦/2分3回戦

△ ドクターK (DAIKEN THREE TREE GYM・山梨) Doctor K

△ 元 長 (アルンジム・新潟) Motonaga

判定1-0(29-29 29-29 30-29)

■第1試合 S.バンタム級交流戦/2分3回戦

○ 後藤浩之 (C'rush・静岡) Goto Hiroyuki

× 飯田 諒 (SUN GYM・埼玉) Iida Ryo

判定3-0(30-28 30-28 30-29)